

平成19年4月25日

(照会先)  
医薬食品局安全対策課  
(内線2749)  
伏見課長、倉持補佐

### リン酸オセルタミビル(タミフル)に係る副作用報告等について

標記については、平成19年4月4日の薬事・食品衛生審議会・医薬品等安全対策部会安全対策調査会の資料において、

- ① タミフルの販売開始から平成19年3月20日までに中外製薬(株)から報告された1,079人に係る報告についての精査
- ② 平成19年3月21日から4月3日までの中外製薬(株)・医療機関からの報告症例の概要

をお示ししたところです。

今般、平成19年3月21日から4月17日までの中外製薬(株)からの報告についても、上記①と同様の精査を行ったので、その結果を公表するものです。

## ■公表内容の骨子

平成19年3月21日から4月17日までの報告を精査の結果、当該期間には192人に係る副作用報告が企業から行われた。

(なお、販売以降企業から報告された症例は、 $1079-3+192=1268$ 人となる。

「3」を減じたのは、3月20日以前の報告症例のうち3件が取下げされたため)

販売開始から3月20日までの副作用報告 1076人(1079人-3人)	今回 192人
-------------------------------------	------------

## ■今回の192人の内訳

### (1)4月4日安全対策調査会資料との関係

- ア、既に掲載されている事例 183人  
(3月21日以降4月3日までの副作用報告として概要が掲載されているもの)
- イ、新たな事例 9人  
(4月4日以降の報告であり、当該調査会資料に掲載がないもの)
- <9人の内訳>
- ・精神神経症状として報告された事例 5人 [表1-1]
    - うち、異常な行動が記録されている事例 3人
    - うち、転落・飛びおり 2人
      - ・1人は、当該調査会資料に症例概要(別冊資料1)は掲載していないものの、転落・飛びおりの件数(資料5, 43頁の参考)には計上している平成18年7月の事例(10歳代)
      - ・1人は、徘徊し階段から転落した本年2月発現の事例(10歳代)
  - ・死亡 4人 [表1-2]
    - うち、突然死 1人

4月4日安全対策調査会資料に概要が既に掲載されている事例 183人	9人 新たな事例
--------------------------------------	-------------

### (2)報告された副作用の発現時期による内訳

- ア、平成19年3月20日以前に発現したもの 151人
- イ、平成19年3月21日以降に発現したもの 30人
- 30人のうち、精神神経症状として報告された事例 16人 [表2-1]
  - うち、異常な行動が記録されている事例 5人
- 30人のうち、死亡 8人 [表2-2]
  - うち、突然死 2人
- ウ、不明等 11人

3月20日以前に発現したもの 151人	不明等 11人	3月21日以降 発現 30人
------------------------	------------	-------------------

表1-1 精神神経症状として報告された事例

識別番号	今回の分類とその事例番号	通し頁
B-07000403	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動)のNo.57	A 11
B-07000412	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動)のNo.58	A,B* 11
B-07001302	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動)のNo.59	A,B 11
B-07000899	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動以外)のNo.85	21
B-07001281	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動以外)のNo.86	21

A : 異常な行動が記録されている事例

B : 転落、飛びおりの事例

\* : 4月4日の安全対策調査会資料に症例概要(別冊資料1)は掲載していないものの、転落・飛びおりの件数(資料5, 43頁の参考)には計上している平成18年7月の事例

表1-2 死亡

識別番号	今回の分類とその事例番号	通し頁
B-07000407	平成19年4月25日発表、資料5-1-4のNo.13	C 23
B-07000599	平成19年4月25日発表、資料5-1-4のNo.14	24
B-07001280	平成19年4月25日発表、資料5-1-4のNo.15	24
B-07001284	平成19年4月25日発表、資料5-1-4のNo.16	24

C : 突然死の事例

表2-1 平成19年3月21日以降に発現した精神神経症状として報告された事例

識別番号	今回の分類とその事例番号	通し頁
B-06026848	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動)のNo.12	A 5
B-07000076	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動)のNo.18	A 6
B-07000097	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動)のNo.23	A 7
B-07000262	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動)のNo.47	A 10
B-07000288	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動)のNo.55	A 11
B-07000060	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動以外)のNo.14	14
B-07000089	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動以外)のNo.22	15
B-07000104	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動以外)のNo.28	15
B-07000129	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動以外)のNo.38	16
B-07000155	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動以外)のNo.46	17
B-07000208	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動以外)のNo.56	18
B-07000216	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動以外)のNo.60	18
B-07000243	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動以外)のNo.69	19
B-07000276	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動以外)のNo.76	20
B-07000278	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動以外)のNo.78	20
B-07000282	平成19年4月25日発表、資料5-1-2(異常な行動以外)のNo.79	20

A : 異常な行動が記録されている事例

表2-2 平成19年3月21日以降に発現した死亡

識別番号	今回の分類とその事例番号	通し頁
B-07000062	平成19年4月25日発表、資料5-1-4のNo.2	C 22
B-07000103	平成19年4月25日発表、資料5-1-4のNo.4	22
B-07000104	平成19年4月25日発表、資料5-1-4のNo.5	22
B-07000195	平成19年4月25日発表、資料5-1-4のNo.6	23
B-07000271	平成19年4月25日発表、資料5-1-4のNo.12	23
B-07000407	平成19年4月25日発表、資料5-1-4のNo.13	C 23
B-07000599	平成19年4月25日発表、資料5-1-4のNo.14	24
B-07001280	平成19年4月25日発表、資料5-1-4のNo.15	24

C : 突然死の事例

資料一覧

(通し頁)

資料5 タミフルの副作用報告の精査について (その2) . . . . .	1
資料5-1-2	
異常な行動が記録されている事例 (平成19年3月21日~4月17日 に第一報報告のあったもの) (その2) . . . . .	4
異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例 (平成19年 3月21日~4月17日に第一報報告のあったもの) (その2) . . . . .	13
資料5-1-4 死亡症例一覧 (平成19年3月21日~4月17日に 第一報報告のあったもの) (その2) . . . . .	22
資料5-2 医療機関報告のうち、中外製薬(株)からの報告と重複しない ものの概要 (精神神経症状) (平成19年3月21日から4月17日ま でに報告されたもの) (その2) . . . . .	25
資料7 タミフル非使用例の「異常な行動」等について (平成19年4月 3日~4月17日までに入手できたもの) (その2) . . . . .	31

平成19年4月25日  
医薬食品局

## タミフルの副作用報告の精査について（その2）

- 〈 〉：・平成19年3月20日までの取り下げ等による減少分  
・平成19年3月21日から同年4月17日までの報告を整理した追加分

1. 中外製薬(株)から報告された副作用報告（個別の症例報告）を精査の対象とする。  
販売開始から平成19年4月17日までに報告された1,268人〈-3+192〉の副作用報告をすべて精査。

（注）医薬関係者からの報告（平成16年4月1日～平成19年4月17日、合計370人  
〈+148〉）と中外製薬(株)からの報告との関係

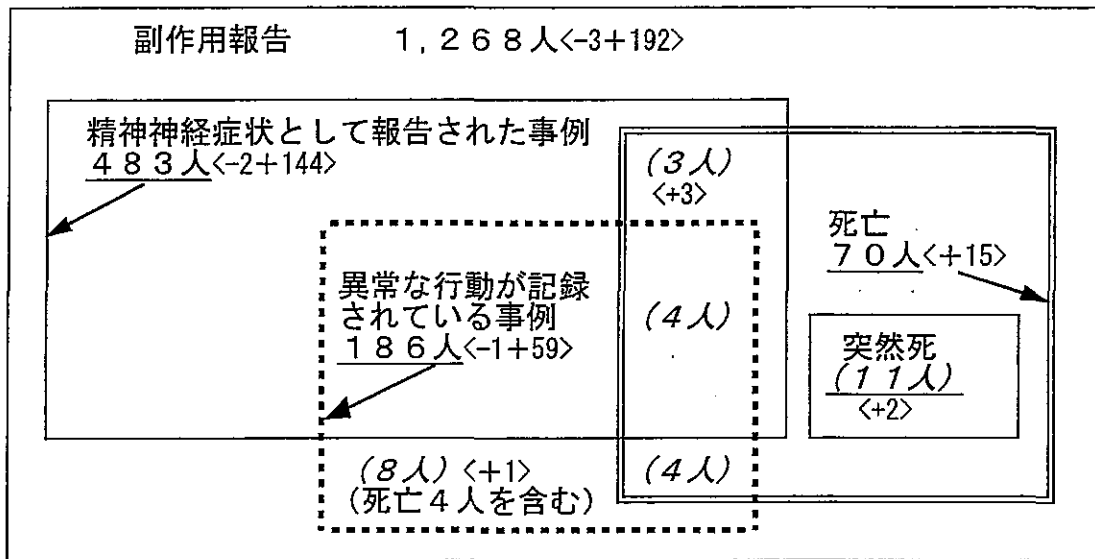
重篤症例（中外製薬(株)と重複） 83例 〈+27〉	非重篤症例 287例 〈+121〉
-------------------------------	----------------------

※ 非重篤症例については、薬事法に基づく個別症例の報告義務が企業に課せられておらず、本件にあっても、中外製薬(株)が非重篤とした事例については個別の症例報告はされていない。

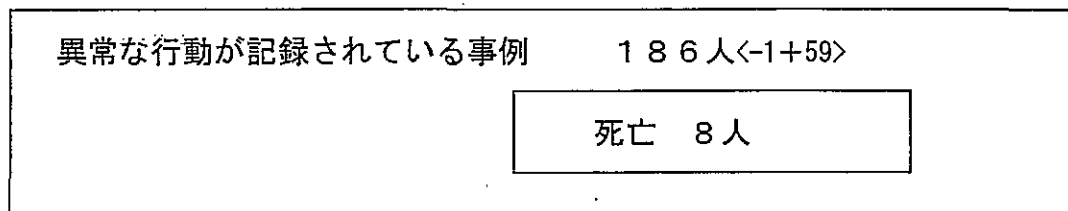
2. これら報告について、
  - （1）報告された副作用の全体像の把握、症状別の解析
  - （2）異常な行動が報告された事例の洗い出し  
（注）「異常行動」を副作用として報告されたか否かに関わらず、何らかの異常な行動が記録され、報告されているものについてすべて洗い出し
  - （3）タミフルとの関連を報告された死亡事例の解析等を行った。

### 3. 現段階における精査の状況

#### (1) 副作用報告の全体像

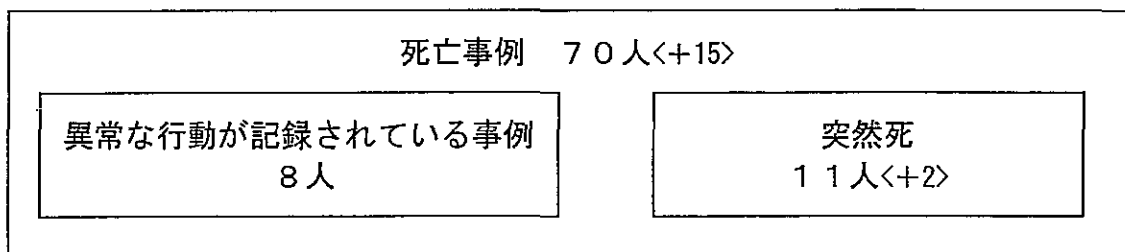


#### (2) 異常な行動が記録されている事例



	10歳未満	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～	不明	合計
事例数	53	96	5	4	4	6	2	6	7	3	186
割合 (%)	28.5	51.6	2.7	2.2	2.2	3.2	1.1	3.2	3.8	1.6	100.0

#### (3) タミフルとの関連を報告された死亡事例



中外製薬から副作用報告されていない死亡事例 6人  
 治験期間中の事例1人、論文等の研究報告に記載のあった事例4人、中外製薬がタミフルと関係がないとして副作用報告として報告しなかった事例1人

(参考)

- 4月17日時点の死亡事例は、3月20日時点の死亡事例55人(うち医療機関報告の1人を含む)に、3月21日から4月17日の間に中外製薬(株)から報告された16人(うち、1人は前述の医療機関報告と重複)を加えた70人である。
- 4月17日時点の転落・飛びおり事例は、4月4日午前7時時点における10歳代21人(うち死亡4人)、その他4人(うち死亡2人)に、その後に中外製薬(株)から報告された10歳代1人(本年2月の事例)を加えた、10歳代22人(うち死亡4人)、その他4人(うち死亡2人)である。
- 4月4日安全対策調査会の資料5「タミフルの副作用報告の精査について」に関する以下の事例が、その後の詳細調査により取下げられている。
  - ・資料5-1-2「異常な行動が記録されている症例」のNo.116
  - ・資料5-1-2「異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例」のNo.212
  - ・資料5-1-1「個別症例一覧」のNo.16
- 4月4日開催安全対策調査会の別冊資料1「平成19年3月21日以降4月3日までの副作用報告」に関する以下の事例が、その後の整理・調査等により取下げ等されている。
  - ・別冊資料1-1(中外製薬(株)からの症例報告)について
    - [取り下げられたもの]  
No.6及びNo.113
    - [精神神経症状の副作用が追加報告されたもの]  
No.171
  - ・別冊資料1-2(医療機関報告)について
    - [重複していたもの]  
No.12とNo.32  
No.122とNo.123
    - [その後、中外製薬(株)から副作用報告されたもの]  
No.1、No.3、No.6、No.12、No.14、No.22、No.32、No.35、No.36、  
No.44、No.48、No.48、No.51、No.52、No.53、No.55、No.56、  
No.58、No.59、No.61、No.62、No.71、No.72、No.119、No.121  
及びNo.124

## 異常な行動が記録されている事例（平成19年3月21日～4月17日に第一報報告のあったもの）（その2）

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-06026126	男性	10歳代	75mg		異常行動 意識消失	回復 回復	インフルエンザB型と診断。投与開始3日目未明、突然起床。玄関ドアの前で意識消失し転倒。意識消失は2～3分間。その間けいれんは認めない。後頭部打撲。翌日、異常行動、意識消失回復。再受診時には、患者のその間の記憶はない。
2	B-06026130	男性	10歳代	50mg		異常行動 激越	回復 回復	インフルエンザB型。ウロウロ家の中を数回歩き回った。ウーと天井に向かって両手を突き上げ、手を握りしめた。その後ガラス戸を足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切って、外科で縫合した。翌日は全て元に戻った。
3	B-06026296	女性	10歳代	150mg	塩酸セフカペンピボキシル ピロミド酸	発疹	不明	インフルエンザと診断し、リン酸オセルタミビル150mg/日投与開始。翌日夜になり徘徊・手の震えが15分続き、その後眠った。その翌日起きてからはそのようなことは無かった。また、夜から発疹が発症。
4	B-06026420	男性	10歳代	150mg		異常行動	回復	1回目服用約2.5時間後、異常な発言（「大きい石がのっている」）あり。2回目服用4時間後、起きてきて数回叫び、後退りし、手を取るがテーブルの上に乗る、その後、走り回り、母親が、押さえ込む。体温を測ろうとするが、体が硬直し、脇が占められない状態であった。また室内犬をかけた為、犬をゲージに入れるが、朝起きてなぜ犬が、ゲージの中に居るのか判らない状態であった。
5	B-06026444	男性	10歳代	75mg	プロピオン酸フルチカゾン モンテルカストナトリウム マレイン酸フルボキサミン プロマゼパム マレイン酸レボメプロマジン カルバマゼピン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル75mg内服2時間後「落ちつかない」「外へ出る」と外へ出ようとした。家人が気付く、手をつかむことにより外出は阻止できた。異常行動発現。3時間程落ちつかなかったが、ようやく就寝できた。
6	B-06026540	男性	10歳代	150mg		錯乱状態	回復	リン酸オセルタミビル服用3回目に精神錯乱。母親が止めるにもかかわらず何度もドアを開けて外に出ようとした。精神・神経障害発現。熱が下がってからは何事もなかったように回復。
7	B-06026629	女性	30歳代	150mg	スルピリン・アミノプロピオン 配合剤 塩酸リンコマイシン	意識消失 健忘 脱毛症	回復 回復 軽快	リン酸オセルタミビル服用3時間後、夜目が覚めて気がいたらトイレに行っていた。その間の記憶がない。
8	B-06026630	男性	10歳代	150mg	アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快 軽快	インフルエンザBと診断され、昼と夜にリン酸オセルタミビル内服。突然2階にかけ上がった。母が追いかけてつかまえて1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階にかけ上がり、母も追いかけたが間に合わず、ベランダへ出、飛び降りた。本人は飛びおりた時の記憶はない。 （4月4日安全対策調査会資料5-2、3月20日までの医療機関報告（精神神経症状）のNo.118に同じ）



No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
9	B-06026663	女性	30歳代	150mg	炭酸リチウム バルプロ酸ナトリウム	毒物誘発脳症	軽快 軽快	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル75mg投与後比較的早く、浮遊感が出現。マンション4階に居住しているがベランダから下をみるとあたかもすぐ近くに地面があるかのごとくの錯覚あり。 鳥の姿がみえるなどの幻視もあったが夫に止められ事なきを得た。
10	B-06026707	男性	40歳代	150mg	レバミピド セラペターゼ ヒベンズ酸チペピジン 塩酸エピナスチン	意識レベルの低下	回復	A型インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル150mg/日処方。歩行中、自分の前後の記憶が一部飛んでるのに気付く。また、踏切の遮断機がおりているのに気付かず、踏切板が頭に当たって恐怖を感じる。
11	B-06026847	男性	40歳代	150mg		自殺企図	未回復	1日分処方1週間後、自殺未遂。首をつろうとしていたのを家族が発見。自殺未遂前に本剤内服していたかは不明。
12	B-06026848	女性	10歳代	75mg	麻黄湯 アズレンスルホン酸ナトリウム	自殺企図	未回復	本年3月19日、インフルエンザBと診断。リン酸オセルタミビル5日分等処方される。処方5日目(3月23日)朝、本剤75mg服用し、その後本剤の服用はしていない。微熱は続いていたが、咳、痰はなかった。 3月25日朝より手首を傷つけたり、死にたいなどと口走るようになり、家族が気をつけていたが昼頃2階の窓より飛び降りて胸腰椎を骨折。 (4月4日安全対策調査会別冊資料1-2、3月21日以降の医療機関報告のNo.12に同じ)
13	B-07000057	男性	10歳未満	30mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用30分後、母親が目を離した間に道路を全速力で走っており、家につれて帰った後はベランダの柵を越えようとしていた。 翌日、異常行動回復。
14	B-07000058	男性	10歳代	不明		異常行動	回復	2階へ急に上がって行き、飛び降りた。打撲程度。意識ははっきりしていた。 (4月4日安全対策調査会別冊資料1-2、3月21日以降の医療機関報告のNo.38に同じ)
15	B-07000063	男性	10歳代	150mg		異常行動	不明	ワクチン接種あり。インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg、1日2回処方。 2階の窓から飛び下りようとしたが、家族が止めた為、事故にはならなかった。 異常行動があったため、当院にて診療。 治療後も目が覚めると歩きまわる様になった。
16	B-07000065	女性	10歳代	75mg	臭化水素酸デキストロメトルファン カルボシステイン 塩化デカリニウム アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱38℃、咳あり。インフルエンザB型治療のため、夕食後にリン酸セルタミビル75mg服用。 深夜、眠っていたが、突然起き上がって、部屋中を走り出したため、家族が制止した。目つきも怪しかった。異常行動発現。 異常行動回復。本剤服用中止。

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
17	B-07000066	男性	10歳代	75mg	クラリスロマイシン برانلカスト水和物 カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	精神症状	回復	インフルエンザ抗原A型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。38～39℃台の発熱が続いていた。 夕方、本剤服用。夕食後自室で寝ていたところ、急に起き上がり、意味不明の発語あり、窓から外へ出ようとするため、母親が馬乗りになっておさえた。5～10分程で興奮状態がさめた。その後、同様の症状は出なかった。発熱による症状かと思いつくには連絡しなかった。本剤服用中止。
18	B-07000076	男性	50歳代	150mg	アセトアミノフェン ジアゼパム	異常行動 譫妄	不明 不明	インフルエンザ罹患3日前、糖尿病により右足を形成外科にて手術を受ける。入院。高熱あり。診断キットにてインフルエンザA陽性のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。 夜、ベッドから降りベッドの柵に頭を何度も打つ、その後、部屋から出ようとして看護師に制止されるが暴れまくる。 後に意識が回復し看護師が暴れていたことを伝えたところ当時の記憶はなかった。服用開始3日目、本剤投与後再度、異常行動、せん妄がみられベッドの上に立つ等の行動があった。CTにて脳出血等の異常なし。腎不全の疑いもあり。異常行動はジアゼパムで鎮静。
19	B-07000077	男性	小児	150mg	フェンジゾ酸クロペラスチン 塩酸アンブロキシール イブプロフェン	異常行動	不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。 3. 5時間後の深夜、突然起きだし、外に出る。父が追いかけて連れ戻した。
20	B-07000078	男性	10歳代	150mg	フマル酸エメダスチン カルボシステイン 塩酸エブラジノン	異常行動 幻覚	回復 回復	リン酸オセルタミビル服用開始。異常行動、幻覚発現。トイレに行くといって玄関の方へ歩いていくが家族によって制止され、その後眠った。 翌朝、服用後、トイレで母親が死んだというようなことを大声で叫び、頭をうち倒れたとのこと。 翌々日、熱が引かないためセフトリアキソンナトリウム処方。全身状態は悪くないとのこと。
21	B-07000086	女性	10歳未満	120mg	ヒベンズ酸チペピジン フマル酸クレマスチン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、異常行動発現。急に起き上がり「トイレ、トイレ」とさけび部屋を走り回るためおさえる。5～6分続く。翌朝、服用後、寝たままわけのわからないことを言うので、様子を聞くと「さわるな」と言ってあばれる。5～6分続く。 その後も服用は続けたが異常行動の発現なし。
22	B-07000087	男性	10歳代	75mg		異常行動	回復	インフルエンザB治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夕方、洗面台の上に立ち上がり、自殺すると20分ほど叫ぶ等の異常行動発現。その後、リビングを駆けまわる。ピョンピョンとぶ。「もうダメだ、どうにもならない、外に出ないと」と興奮。発現4時間後、落ちつくが、本人は覚えていない。夢の中で何か興奮していたと本人は言っている。翌日、舌がマヒ。服用4日目、異常行動回復。

No	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
23	B-07000097	男性	10歳未満	75mg		幻覚	軽快	リン酸オセルタミビル服用開始。2回目服用後、深夜、幻覚が発現し、10数回、起き上がり逃げ回った。 翌朝、投与中止。翌々日、幻覚は軽快。
24	B-07000102	不明	10歳代	不明	アセトアミノフェン	浮動性めまい 異常行動	回復 回復	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル処方。服用3時間後、言動がおかしくなり、階段より転落し、上肢痙攣がみられた。救急車で受診するも、意識レベル回復し、画像上も異常所見なし。
25	B-07000106	男性	10歳未満	不明	カルボシステイン	激越	回復	午前中から39～40℃台の発熱があり、インフルエンザ抗原検査でA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、大声をあげて、一点を凝視した。その後、ぼーっとして入眠した。服用4時間後、大声をあげて、押さえつけていないと動き出そう暴れた様子で、救急車で当院救急外来に搬送された。来院時、意識は清明で興奮状態になかった。
26	B-07000108	女性	10歳代	75mg	非ピリン系感冒剤(4)	異常行動	回復	インフルエンザAに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用6時間後(1:30頃)、2階から突然飛び降りた。飛び降りた瞬間に意識が戻った。 本人の申告では、ガラス窓と雨戸をあけて、戸外にとびおりたその瞬間に気づいたとのこと。 服用8時間後(3:30頃)、家族が外に転落しているのを発見。翌朝、救急で搬送。CT、レントゲン異常みられず帰宅。 (4月4日安全対策調査会別冊資料1-2、3月21日以降の医療機関報告のNo.73に同じ)
27	B-07000111	男性	10歳代	150mg	リン酸ベンプロベリン メキタジン ラマトロバン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始2日目朝、体温:38.8℃。夜中、異常行動あり、布団に座って「キャッシュが卒業して」と言いながら泣いている。就寝。その後、異常行動なし。 服用開始3日目、インフルエンザ軽快。服用開始5日目、朝、38℃の発熱、夕、39℃。来院時37.4℃。B型インフルエンザと診断し、本剤処方。夕方、本剤服用。同日、夜中、トイレにこもる、階段の昇り降りを繰り返すなどの異常行動、異常言動が発現。その後、異常行動回復。
28	B-07000121	女性	10歳代	150mg	カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニラ ミン 臭化水素酸デキストロメトル ファン	異常行動	回復	早朝、39℃の発熱、鼻汁、咽頭痛、頭痛を認め、午前中来院し、A型インフルエンザと診断。同日、昼・夜、リン酸オセルタミビルを服用。服用2時間後、1階にいた家族の知らないうちに、2階より寝巻き裸足のまま家を出て、近くの家で保護されていた。落ちたのか飛び降りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのこと。翌日は意識も清明で特に異常所見は認められなかった。 (4月4日安全対策調査会別冊資料1-2、3月21日以降の医療機関報告のNo.121に同じ)
29	B-07000128	女性	10歳未満	33mg		異常行動	記載無し	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル処方。同日夜、異常行動(急にかげだし意識消失して眼が上転し転倒)。翌日、トイレに行こうとして眼がうつろになってたおれた。

No.	識別番号	性別	年代	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
30	B-07000130	男性	10歳代	75mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸セチリジン ヒベンズ酸チペピジン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル投与。熱いと言い、ベランダに出ようとした。異常行動発現。異常行動回復。
31	B-07000131	女性	10歳代	65mg	クラリスロマイシン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン カルボシステイン 臭化水素酸デキストロメト ファン	多幸気分 妄想 激越	回復 回復 回復	インフルエンザB型と診断され、親の希望でリン酸オセルタミビル処方。朝から服用開始。翌日、異常興奮発現。解熱。服用3日目、気分高揚、妄想発現。自宅のソファの背もたれの上に立ち上がったから、床に向かって顔から転落。口腔内から出血するなどした。受診後、帰宅途中にガードレールを越えて車に飛び込もうとしたため、ガードレール越しに祖母がつかまえたが、勢いがあり祖母が転倒して顔面打撲した。翌日、異常興奮、気分高揚、妄想回復。
32	B-07000153	男性	10歳代	150mg	プラノプロフェン 塩酸アンブロキシール エバステン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビルの服用を開始。2回目の服用後、同日、意識障害発現。翌朝、子ども部屋からのうめき声を母親が聞く。部屋に行ってみると当該患者がベットで座位をとり、窓から身を乗り出してうめき声を発していた。しばらくして落ち着いたが、その後一人でトイレに行き、排尿をしている間に意識消失。2~3分程度継続。救急車により搬送される。到着時には、意識は回復。本人にそのときのことを確認すると、苦しい気がしたのでうめき声を発したが窓から身を乗り出していたことには記憶がないとのコメント。
33	B-07000156	女性	10歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザを発症し、リン酸オセルタミビルを1回のみ服用。投与後2日目夜、異常行動(夜中急に走り出して倒れた)発現。
34	B-07000162	女性	10歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。異常行動(飛び降り)発現。投与5日後、本剤投与終了。1ヵ月半後、回復。 (4月4日安全対策調査会別冊資料1-2、3月21日以降の医療機関報告のNo.110に同じ)
35	B-07000163	男性	10歳代	100mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン ブドウ糖 塩酸レセルピリン酸ジメチル アミノエチル	異常行動	回復	インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。同日昼、異常行動発現。本剤服用3時間後、2階に駆け上がり、黒いものに追いかけられ、イタイイタイと叫んだ。翌日、異常行動回復。投与4日後、本剤投与終了。
36	B-07000166	女性	10歳代	60mg		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビルを処方され、同日夕方、1回内服するが症状なし。翌日朝、本剤内服。その2時間半後、体が熱い症状訴える。その後母親が目を見た隙に一人で靴を履き玄関を出ようとしていた。患児の姉が気付き止めた為大事には至らなかった。本人は覚えていないとの事。症状が出たときは熱はまだ40℃ほどであった。本剤投与中止。同日、異常行動回復。

No.	識別番号	性別	年代	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
37	B-07000198	男性	10歳未満	60mg	アセトアミノフェン	譫妄	軽快	38.8℃の発熱があり、午後8時30分、リン酸オセルタミビルを内服し就寝。その後突然覚醒し異常な発言、再び入院したが次に目を覚ましたとき「行かなきゃ」と言って玄関に向かって行った。約30分後、せん妄状態発現。深夜0:00、救急車を要請し、救急車が到着した頃はほぼ普通にもどっていた。37.3℃。0:25、来院。来院時意識清明。せん妄状態軽快。
38	B-07000206	男性	10歳代	75mg	L-塩酸メチルシステイン カルボシステイン セフテラムピボキシル トラネキサム酸 プラノプロフェン トロキシビド ブドウ糖 硫酸イセパマイシン トラネキサム酸	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、寝ていたところ突然起き上がり、部屋中を手をゆさぶり歩き回るが、呼びかけには答えず。2~3分で落ち着いた。本剤服用中止。翌日、未明に突然起き上がり、上肢を1分程バタつかせるが、その後回復。
39	B-07000209	男性	青少年	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、走行中の車からの飛び出し。異常行動発現。
40	B-07000215	男性	10歳代	不明		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、かなり激しく動き回り、二階へかけ上がる等の異常行動発現。
41	B-07000218	男性	10歳代	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、ズボンを脱いで階段を昇り降りしながら、異常言動発現。当日、夕方に入院するが、症状なく、入院3日後に退院。
42	B-07000240	男性	10歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3日目、暴れだし、階段から飛び降りようとするが、母親がせき止める。同日、本剤服用終了。服用終了3日目、異常行動回復。
43	B-07000244	女性	40歳代	150mg	非ピリン系感冒剤(4) カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン 鎮咳配合剤(1) ジクロフェナクナトリウム 酢酸リンゲル液(ブドウ糖加) (2-2)	錯乱状態	不明	インフルエンザAと診断。午後よりリン酸オセルタミビル服用開始。投与4日目、朝から何度も外出しようとして家族に連れ戻される。午後より、訳のわからないことを言い始める。投与5日目、錯乱状態。

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
44	B-07000259	男性	10歳代	75mg		異常行動	回復	B型インフルエンザと診断。夜、リン酸オセルタミビル服用後、就寝。翌朝、朦朧として起床、室内を徘徊し、突然、自宅2階ベランダの柵を越え飛び降りようとした為、母親が制止した。 その後、意識回復したが異常行動の記憶はほとんど無い。
45	B-07000260	女性	10歳代	不明		幻覚	回復	3年前からリン酸押せるタミビル投与中に幻覚がみられた(過去には夜に一人で外をふらつく)。本年、インフルエンザ発症。リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、幻覚を見てドアにぶつかり額に裂傷を負う。
46	B-07000261	男性	10歳代	150mg	アセトアミノフェン	幻聴	不明	咳・鼻水あり市販の解熱鎮痛剤を服用。38℃台の発熱がありボーっとしていたが意識正常。頭痛・悪寒があり、受診し、インフルエンザA型陽性と出たため、リン酸オセルタミビル処方。翌朝、母親が外から呼んでいるというような幻聴があり、自宅玄関(5階)から外へ出ようとしたため制止した。
47	B-07000262	女性	10歳未満	42.6mg		異常行動	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル服用後、睡眠。その30分後ベランダに向かって走り出したため、トイレに隔離したところ叫び声をあげていた。
48	B-07000264	男性	50歳代	150mg	ジクロフェナクナトリウム アズレンスルホン酸ナトリウム・L-levodopa	異常行動	不明	インフルエンザ検査陰性。リン酸オセルタミビル投薬。夕方、本剤、ジクロフェナクナトリウム服用後、しゃべりにくくなり、また身体が痛く動けなくなる。夜中、他院に受診。インフルエンザ検査陰性。以後本剤服用せず。車で移動中に車から道路に出ようとした。
49	B-07000272	男性	10歳代	120mg	塩酸エブラジノン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。服用し、就寝。服用2時間半後、急に体をおこし、2階の窓から飛び降りようとしたため、家人がとりおさえ、ことなきを得た。すぐにおさまり、1階へ移動して就寝した。服用4時間半後、再び急に起き上がり、今度は1階の窓から飛び出した。その時、外で隣人が水まきをしており、その場で我にかえり、ことなきを得た。服用中止後、異常行動なし。軽快。
50	B-07000274	男性	10歳代	116mg	臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	39℃の発熱、咽頭痛、咳あり。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤、臭化水素酸デキストロメトルファン、塩酸アンブロキシソールを内服。服用約1時間後、1階にて寝ていたが覚醒し、階段を半分まで上がり、母が駆けつけると驚き泣く。1階へ連れ戻すと玄関を指差し怯える。部屋へ連れてはいると騒ぐ。布団に入れたが体中に力を入れ唸る(約5分間)。急に立ち上がり胸を両手でおさえる。母が抱きしめると落ち着き就寝。服用8時間後、本剤服用するものの、2/3は吐き出す。服用1時間後、目を覚まし、起き上がり、掃除機のホースに足を入れようとする。本人は夢でマンションから飛び降り、痛みはなく、起き上がり歩こうとした。掃除機に足を入れようとしているところで現実に戻ったが、自分の体を止めることができなく、その後、記憶がなくなったとのこと。
51	B-07000279	男性	10歳未満	81mg		異常行動	回復	A型インフルエンザのためリン酸オセルタミビルを投与開始。投与後突然起き、走り出し、ドアに激突、顔面打撲(左顔)。異常行動発現。

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
52	B-07000283	男性	10歳代	75mg		譫妄 意識レベルの低下	回復 回復	発熱39℃。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。服用3時間後、せん妄、もうろう状態発現。トイレに行きドアを開けずに接近し、転倒。その後2階で寝かせた。床の中で不穏動作(手をバタバタさせたり起き上がろうとしたり、物に話すような動作)が認められたため、両親が体を抑えつけていたら改善した。記憶は定かではなかったとのこと。症状回復。本剤投与中止。翌朝、体温35.8℃に低下し、回復。
53	B-07000284	男性	10歳代	150mg		異常行動 幻覚	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。異常行動、幻覚発現。何か幻覚のようなものを見て、外に出ようとした。母親が止めようとしたが、止められず、父親が平手打ちをしたところ正気に戻った。翌日、熱も下がり、症状は回復。本剤は継続中。
54	B-07000286	男性	10歳未満	132mg	臭化水素酸デキストロメト ファン d-マレイン酸クロルフェニラ ミン フマル酸ケトチフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル処方。うわごとを言って、表情もこわばり、走り出すため、親が抱きかかえていた。服用後6～7時間後に症状消失。再度本剤服用後、同症状出現し、繰り返し続いた。4回目の服用中止。症状全て回復。
55	B-07000288	男性	10歳未満	168mg	クラリスロマイシン	異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用5～6時間後、部屋を意味も無くうろろする。急に水遊びをしだす。その後、布団が重いと言い出し、突然2階に駆け上がり、父親の枕を取り上げた。その後、1階に駆け下り、父親が取り押さえた。熱は38.5度。3回目から服用せず。解熱剤の併用もなし。夜間のエピソードの記憶はなかった。
56	B-07000306	男性	10歳代	75mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後も高熱(39度)が持続。服用10時間後、2階から階段を勢いよく下りてきて、玄関から飛び出し、田んぼを走っていた。その後、国道に寝ていたが、車輛が気づき、事故に至らなかった。その後、本剤服用中止。アセトアミノフェン服用し、解熱。異常行動回復。
57	B-07000403	女性	小児	150mg		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用後、自分が透明になったなどと2時間くらい暴れる。母親らがしばらく押さえつけて事なきを得た。なお、患者はもともと精神科に通っている。
58	B-07000412		10歳代	138mg		異常行動	回復	インフルエンザB型の治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、午前中に2階から転落。頭蓋内血腫と診断。入院治療し、約1週間で退院。異常行動回復。(4月4日安全対策調査会資料には、症例概要は掲載していないものの、件数は計上していた平成18年7年の事例)
59	B-07001302	女性	10歳代	75mg		痙攣	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤投与1回目の就寝2時間後、徘徊し、階段から転落。痙攣が10分ほど持続。事象発現から30分後、意識が戻り、その後は問題なし。

異常な行動が記録されている事例（インフルエンザウイルス感染の有無）

No.	識別番号	感染
1	B-06026126	○
2	B-06026130	○
3	B-06026296	不明
4	B-06026420	○
5	B-06026444	○
6	B-06026540	不明
7	B-06026629	不明
8	B-06026630	○
9	B-06026663	○
10	B-06026707	○
11	B-06026847	不明
12	B-06026848	○
13	B-07000057	不明
14	B-07000058	不明
15	B-07000063	不明
16	B-07000065	○
17	B-07000066	不明
18	B-07000076	○
19	B-07000077	不明
20	B-07000078	不明
21	B-07000086	○
22	B-07000087	○
23	B-07000097	不明
24	B-07000102	不明
25	B-07000106	○
26	B-07000108	○
27	B-07000111	○
28	B-07000121	○
29	B-07000128	○
30	B-07000130	○
31	B-07000131	○
32	B-07000153	○
33	B-07000156	不明
34	B-07000162	不明
35	B-07000163	○
36	B-07000166	不明
37	B-07000198	○
38	B-07000206	○
39	B-07000209	不明
40	B-07000215	不明
41	B-07000218	不明
42	B-07000240	不明
43	B-07000244	○
44	B-07000259	○
45	B-07000260	不明
46	B-07000261	○
47	B-07000262	○
48	B-07000264	×
49	B-07000272	○
50	B-07000274	○
51	B-07000279	○
52	B-07000283	○
53	B-07000284	○
54	B-07000286	○
55	B-07000288	不明
56	B-07000306	○
57	B-07000403	不明
58	B-07000412	○
59	B-07001302	不明

○：インフルエンザウイルスの感染が明確なもの  
35例

×：インフルエンザウイルスに感染していないもの  
1例

不明：検査が実施されていないもの等  
23例



異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(平成19年3月21日～4月17日に第一報報告のあったもの)(その2)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-06026127	女性	60歳代	150mg		意識消失	回復	夜、本剤服用後、医院から帰る途中、車にて事故を起こした。意識消失発現。来院し、体温36.2℃。事故について、意識がなかったことを聞く。CT異常なし。意識消失回復。
2	B-06026128	男性	10歳代	75mg		幻覚 妄想 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA治療の為、本剤の投与開始。幻覚、妄想、異常行動発現。
3	B-06026131	男性	10歳代	不明		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル1回服用。10時間後、5分くらい変なこと(「ぼくの首がここに見える」「お父さんお母さん戦って勝った、やったー」「うろこが見える」など)を喋った。
4	B-06026181	女性	30歳代	150mg	アセトアミノフェン	異常行動 幻覚 幻聴	軽快 軽快 軽快	インフルエンザB型のため、リン酸オセルタミビル150mg/日投与開始。39℃台発熱時、本剤内服後、幻覚、幻聴、異常行動発現。翌日、本剤中止、入院。
5	B-06026529	女性	10歳未満	75mg		意識レベルの低下 大発作痙攣	回復 回復	リン酸オセルタミビル75mg内服10分後、嘔吐し、その後焦点合わず氷をいじったり、靴下をいじったりして呼びかけに答えなくなり、眼球上点、全身強直間代性けいれんとなった。けいれんが止まった後も、呼びかけに応えずに四肢を動かさず意識障害が持続し、当院搬送。3時間後には意識清明になった。
6	B-06026622	女性	10歳代	75mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸プロメタジン トラネキサム酸	意識消失	回復	リン酸オセルタミビル服用10時間後、体に力が入らず脱力状態。母が階段の上方から両腕をかかえ、家族が階段の下方から両足を持って運んでいた。開眼していたが、昇る途中、呼名に反応しない意識消失状態が1分間あり、家族は1分ほど両足の硬直を感じた。その後硬直は消失し、呼名に開眼する状態となり救急車で当院来院した。本人は階段昇っている途中より、家に救急隊が到着するまでの間は覚えていない。
7	B-06026623	男性	10歳未満	27mg		幻覚	回復	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル27mg内服。遠くを見つめ、おぼけが出る等の症状を訴えたため、本剤中止。
8	B-06026807	女性	40歳代	150mg		痙攣	軽快	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル投与開始。意識障害、痙攣発現。意識障害で倒れ、顔を打った。本剤投与中止。
9	B-06026808	女性	10歳未満	不明		異常行動	軽快	服用後5時間、異常言動発現。再来院し、入院。脳波及びCT検査での異常はなし。
10	B-06026846	男性	10歳未満	60mg	臭化水素酸デキストロメト ファン アセトアミノフェン	異常行動 痙攣	回復 軽快	インフルエンザA確定。服用30分後に奇声を発するも押さえつけ入眠。けいれん発現。入院目的に搬送時、意識クリアーになる。
11	B-06026849	男性	10歳未満	60mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザの診断なし。リン酸オセルタミビル60mg1回服用。40分就寝した後、布団を蹴飛ばし「怖い」と叫び、視点が定まらず、母がつかまえていた。インフルエンザ迅速検査陰性、咽頭粘液、血液でのインフルエンザウイルス同定(POR)陰性。

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
12	B-07000002	男性	10歳未満	不明		痙攣	軽快	インフルエンザ検査は陰性であったが、リン酸オセルタミビルを処方。痙攣が起きたため、入院。
13	B-07000056	男性	10歳未満	不明		幻覚	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用後、幻覚発現。
14	B-07000060	女性	20歳代	150mg	プラノプロフェン ジプロフィリン・ジヒドロコデイン配合剤	痙攣	回復	A型インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル服用開始。3回目の服用4時間半後、痙攣が発現。翌日、回復。
15	B-07000064	男性	10歳代	75mg	鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン 塩酸セフカペンピボキシル	意識消失	軽快	インフルエンザ治療のため、本剤服用。1時間後、意識レベル低下。両親の呼びかけに応じないため、救急者にて他院に搬送。その後、自然回復。
16	B-07000067	女性	10歳未満	27mg		痙攣	軽快	リン酸オセルタミビル27mg服用後、暫くして痙攣。2回目から服用中止。翌日、痙攣軽快。
17	B-07000068	男性	10歳代	75mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1)	意識消失 痙攣	回復 回復	リン酸オセルタミビル75mg服用。約4時間後、母親が心配でトイレに付き添った所、突然意識消失し、痙攣を起こした。声をかけたところ、5秒後に回復した。しかしその後の返答もおかしくトイレに行こうとしたのにも関わらず、ご飯を食べにリビングに行こうとしたと、トンチンカンな事を言った。
18	B-07000074	女性	小児	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。しゃべりまわっていた。
19	B-07000075	女性	10歳未満	90mg		幻覚	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後に幻覚発現。服用5日目、幻覚は回復。
20	B-07000079	男性	10歳代	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	B型インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル服用。服用5時間半後、39.3℃の高熱のため、アセトアミノフェン服用。服用6時間半後、トイレの便器周辺に排尿。目がとろんとした状態で、にこにこしながら学校の話に饒舌となり、異常行動発現。父親に叱られるも、通常の意識には戻らず、その後すぐに入眠した。その時の記憶はないようであった。服用7時間半後、37.3℃となり、その後、覚醒し、この時点で意識は正常に回復。熱が38℃であったため、アセトアミノフェン服用。翌日、本剤中止。
21	B-07000088	女性	10歳代	150mg	d-マレイン酸クロルフェニラ ミン 硫酸サルブタモール	異常行動	軽快	インフルエンザウイルス感染症治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。深夜、トイレに行き、トイレの中で意味不明なことを絶叫し、その場で倒れて意識不明の状態になった。30分後、救急車で運ばれて来たが、その際は意識は回復していた。異常行動軽快。

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
22	B-07000089	男性	20歳代	不明		意識消失	回復	インフルエンザ様症状を発症。発症6日後、友人からもらったリン酸オセルタミビル服用開始。翌日、車の運転中意識がなくなり、壁にぶつかり、当院のICUに入院。意識レベルバイタルは正常だが、ハンドルを腹部にぶつけ、肝臓の損傷の疑いあり。アンギオ実施。同日、意識消失は回復。
23	B-07000090	女性	10歳未満	不明	塩酸セフカペンピボキシル ヒベンズ酸チベピジン 塩酸シプロヘプタジン 塩酸プロカテロール 塩酸アンブロキシソール	異常行動 異常行動	回復 回復	リン酸オセルタミビル服用開始。 同日、「何か気分がいい」との異常言動が発現し、翌日回復するが、服用4日目まで、「何者かに追われている」との異常言動が発現。 服用4日目、本剤服用中止。中止翌日、異常言動回復。
24	B-07000092	男性	40歳代	75mg	ベラプロストナトリウム 塩酸セベラマー メチルドパ ベシル酸アムロジピン バルサルタン アルファカルシドール ポリスチレンスルホン酸カルシウム 沈降炭酸カルシウム クロナゼパム メコバラミン センノシド	異常行動	軽快	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。 透析患者のため、本剤75mgを1回のみ投与する予定が、誤って1日1回を5日間投与してしまった。5日間服用後、夜間透析を受けており、睡眠中だったが、急に起きて透析の針を自分で抜いてまた刺したという異常行動(自己抜刺)をおこした。同日症状回復。
25	B-07000098	男性	10歳未満	70mg		脳炎	死亡	A型インフルエンザ罹患者との接触があり、また化学療養中で免疫機能低下状態のため、感染予防目的でリン酸オセルタミビル投与開始。 敗血症発症。服用から3日目、髄膜脳炎を発症(細菌陽性)。 (合併:急性骨髄性白血病)
26	B-07000100	男性	10歳未満	150mg		幻覚 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザ治療の為、リン酸オセルタミビル服用開始。 幻覚、行動の異常発現し、同日回復。
27	B-07000101	男性	10歳未満	72mg	塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チベピジン セフォタキシムナトリウム ジアゼパム	痙攣 意識レベルの低下	不明 回復	深夜、発熱。翌朝、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。 本剤3回目服用後、けいれん(1分くらい)発現し、入院。丸1日意識レベル低下。けいれん、意識レベル低下(ともに非重篤)発現。 翌日、熱が下がる。翌々日、本剤服用中止。服用中止1日後、ふらつき、頭痛あり。(意識レベルは正常)MRI異常なし。幻覚、視覚異常、ふらつき、傾眠発現。服用中止2日目、「あそこに何かいるから痛い」と言う異常行動発現。
28	B-07000104	男性	60歳代	75mg		痙攣	死亡	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg服用。5時間後の翌未明、けいれん(全身性)発症。

No.	識別番号	性別	年代	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
29	B-07000105	女性	20歳代	150mg	アセトアミノフェン	意識消失	回復	夕食後、リン酸オセルタミビル服用開始。翌未明、トイレに行ったとき気を失う。顔を打つ。現在、顔の傷の治療のため通院中。
30	B-07000107	女性	10歳代	130mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン	異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 異常行動、言動(家電をなくった)発現。 服用3日後、異常行動、言動回復。
31	B-07000110	男性	10歳未満	120mg		意識レベルの低下	回復	リン酸オセルタミビル服用当日夜、意識障害(重篤)、痙攣が発現。翌日、意識障害回復。
32	B-07000113	男性	10歳代	75mg		痙攣	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル処方。自宅でうずくまっているのをおこしたときに痙攣があり、救急搬送される。熱はなく、意識もあり、身体レベルも異常なし。脳圧も正常。当日、痙攣軽快。
33	B-07000119	女性	90歳代	150mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱38.5℃、咽頭痛、倦怠感。インフルエンザA型と診断。服用3日目、夜、点滴抜針し、枕を投げ、ふとんをおしやり下に落とし、突然暴れだした。服用4日目、朝、家人にトイレ介助を訴え、家人介助する。この時点で落ちついた様子であった。服用5日目、本剤投与終了、落ち着いてきたため退院。
34	B-07000120	男性	10歳代	150mg		幻覚 異常行動	不明 不明	インフルエンザAに対して、リン酸オセルタミビル2回内服。幻覚症状があり、暴れたりした。
35	B-07000123	男性	10歳未満	150mg		異常行動	回復	インフルエンザに対しリン酸オセルタミビルの投与を開始。同日、異常行動発現。翌日、異常行動回復。
36	B-07000124	男性	10歳未満	不明		異常行動	回復	過去に本剤服用時に異常行動が発現(詳細不明)したことあり。インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル投与開始し、異常行動発現。翌日、異常行動回復。
37	B-07000126	女性	80歳代	150mg	塩酸マニジピン ピコスルファートナトリウム	幻覚	回復	37.1℃の熱および鼻水あり。インフルエンザA型と判明し、本剤処方。翌日、前日より熱が上がっており37.7℃。昨晩は寝られなかった様で、家族の話では夜中に意味不明の発言をしていたとのこと。
38	B-07000129	女性	40歳代	150mg	酒石酸ゾルピデム フルバスタチンナトリウム ピコスルファートナトリウム 非ピリン系感冒剤(4) ロキソプロフェンナトリウム テプレノン	異常行動	回復	患者がインフルエンザの検査を拒否したが、リン酸オセルタミビル処方。翌日、通勤する際、車で自損事故を3回繰り返した。来院し、インフルエンザの検査を実施したところ陰性。
39	B-07000133	男性	20歳代	150mg		譫妄	軽快	インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、意識もうろう、うわ言発現。本剤投与中止。投与中止8日後、意識もうろう、うわ言軽快。

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
40	B-07000135	男性	10歳未満	102mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤2回目服用後、ベッドの上で跳び始めた。何かにおびえてる様子。異常行動発現。38℃台。2日後、異常行動回復。
41	B-07000136	女性	40歳代	150mg	アセトアミノフェン	意識レベルの低下	不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。意識障害(記憶)発現。
42	B-07000148	男性	10歳未満	100mg		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤投与終了2日後、意識障害、痙攣発現。同日、回復。
43	B-07000150	男性	20歳代	不明	アセトアミノフェン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断。リン酸オセルタミビル処方。発熱38℃。夜、本剤服用3時間後、「死神が見える」と訴える。幻覚発現。翌日、インフルエンザ脳症の疑いで、入院。
44	B-07000151	男性	20歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。投与開始4日後、異常行動発現。翌日、異常行動回復。
45	B-07000152	女性	10歳未満	100mg		痙攣	回復	40.5℃の発熱と腹痛のため、母親同意の下、リン酸オセルタミビル処方。一回目の本剤服用約20分後、いびきをかいて寝ているような状態であったため、心配になって確認したところ、口から泡を吹いているような状態で、再受診。その際、顔は真っ青で、唇はチアノーゼがでていたとのこと。再受診の際は、目は開けているがぼんやりとしており、両親の問いかけにも反応が悪かったとのこと。けいれんが見られており、抗けいれん薬などの処置により回復。
46	B-07000155	女性	50歳代	75mg	アセトアミノフェン	自律神経失調 意識レベルの低下	軽快 回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを処方される。服用後、就寝。翌朝、服用後、腹痛のためトイレに入る。冷汗が出て気付いたら意識喪失で倒れているところを夫が発見。歯3本折る。顔の外傷、頭部血腫。自律神経系異常、意識消失発現。他院でCTをとったが異常なく、現在治療中。発見時、大きないびきをかいていた。
47	B-07000157	男性	10歳未満	不明		譫妄	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。熱せん妄発現。見えないものが、見えるとおびえていた(40.5℃。)翌日、熱せん妄回復。5日目、本剤投与終了。
48	B-07000160	女性	50歳代	150mg	臭化水素酸デキストロメト ファン 塩酸プロカテロール ラミブジン シクロスポリン	意識消失	軽快	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始(5日間)。意識消失発作が発現。投与終了後、3日目、意識消失発作にて自宅で倒れているところを家族が発見した。その後、意識はすぐに回復した(生体肝移植後で病院に通院中であり、同病院の医師に相談し、本剤はそのまま内服を続行したが、その後、意識障害はなかった)。
49	B-07000161	女性	10歳代	不明		痙攣	不明	インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。翌日、本剤内服1時間後にけいれん発現。本剤投与中止。
50	B-07000164	男性	10歳未満	130mg		痙攣	軽快	インフルエンザウイルス感染治療の為、リン酸オセルタミビルを投与開始。同日、けいれん、自動運動発現。同日軽快。

No.	識別番号	性別	年代	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
51	B-07000200	女性	10歳代	150mg		意識消失	回復	インフルエンザBの診断のため、リン酸オセルタミビル処方。翌朝、急に目が見えないと言ひ意識を失い、その後眼球が上転し四肢がつっぱる様な痙攣を起こしたが、数分で回復。37.6℃。翌日、インフルエンザ軽快。
52	B-07000201	男性	不明	150mg		譫妄 痙攣	不明 不明	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。翌朝服用後、突然うわ言、痙攣発現。そのまま寝てしまう。夕方、回復し、本剤を服用すると再び同じ症状出現。嘔吐もあり。 本剤服用中止。
53	B-07000202	男性	10歳代	不明	バルプロ酸ナトリウム ゾニサミド	痙攣	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、痙攣発現(2分間)。CT検査異常なし。服用開始2日後、回復。
54	B-07000204	女性	30歳代	75mg		自傷念慮	回復	本剤服用後、腕を切りたくなるといった自傷願望発現。その後回復。
55	B-07000205	女性	60歳代	75mg		意識消失	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 翌日、意識消失発現。廊下でまえのめりに転倒、顔を床にうつ。本剤服用中止。
56	B-07000208	男性	20歳代	不明	非ピリン系感冒剤(4) テブレン 臭化チキジウム	異常行動	回復	インフルエンザ検査は陰性であったが、発熱38.2℃。インフルエンザと判断し、リン酸オセルタミビル処方。服用30～40分経過後に車で帰宅。運転中に突然、脱力感を感じハンドル、ブレーキの操作も出来ない状態になった。10分後、回復。翌日、本剤を服用したが特に症状はなし。
57	B-07000211	男性	10歳代	150mg		うつ病 無感情 自殺企図	未回復 未回復 未回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用後、抑うつ、無気力、自殺企図発現。 服用開始4日後、服用中止。
58	B-07000213	男性	30歳代	不明		双極性障害	不明	インフルエンザ治療のために、リン酸オセルタミビル処方。服用開始3日目ぐらいに不安感、孤独感が発現。5日間服用したが、その後、虚脱感、体に力が入らない、尿の回数が2回/日に減少し、精神科を受診。軽躁状態、双極状態と診断され、それ以降、精神科から投薬を受けている。
59	B-07000214	男性	10歳代	75mg	セフボドキシムプロキセチル 鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン	異常行動	回復	38.9℃と発熱。インフルエンザB型と診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用後、異常言動発言。寝ていたのが起き出し、意味不明の発言あり、何かをさがす様な動きをくり返した。家族の声には全く答えず20分程で回復。その後著変なし、本人全く記憶なし。
60	B-07000216	男性	30歳代	不明		異常行動	軽快	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、異常行動発現し、入院。
61	B-07000217	男性	10歳代	150mg	一般用鼻炎薬	精神障害	回復	インフルエンザB型にて、リン酸オセルタミビル4日分処方。服用終了後、発汗量が減少し、本人が頭がぼーとするとした自覚症状を訴えた。精神障害発現。翌日も同様。服用終了3日目、脳波で異常が認められ、服用終了4日目に入院。脳波では異常所見認めるが少しずつ改善。服用終了11日目に症状改善し、退院。

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
62	B-07000226	男性	20歳代	150mg	麻黄湯 塩化リゾチーム	うつ病	回復	インフルエンザ疑いにてリン酸オセルタミビル処方。内服して就寝。服用後、「死にたい」と訴えるなどの異常行動発現し、2回目服用中止。この時、39.1℃。翌朝、38.5℃の発熱、全身倦怠感あり。夕方、39.3℃。再び、「死にたい」と感じたが、前日より落ち着く。その後、解熱。当時の記憶はあまりなしとのこと。
63	B-07000227	女性	青少年	75mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。トイレの前で急に倒れた。異常行動発現。近くの救急病院で点滴。
64	B-07000228	男性	10歳代	150mg		意識消失	回復	インフルエンザにより、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、服用後、トイレにて倒れていた。2～3分で意識が回復した。
65	B-07000229	女性	50歳代	150mg	クラリスロマイシン リン酸ジメモルファン セラペプターゼ	幻覚 幻視	軽快 軽快	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、気分不良、嘔気が出現。ふらつきがあり、足が倍程に太くなる等の幻覚が発現。翌々日の朝、MRI施行するも異常なし。幻覚、幻視は軽快。
66	B-07000231	女性	50歳代	150mg		意識レベルの低下	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。2回目服用4時間後、トイレで倒れ意識消失1分位あり。救急車で来院。応答できるがぼんやりした感じ。上肢の脱力と嘔気がある。翌朝、症状改善し、退院。倒れたときの記憶はなく、意識消失は確かにあったものと考えられる。
67	B-07000241	男性	10歳未満	96mg	塩酸シプロヘパタジン 塩酸アンブロキシソール 塩酸クロフェダノール ロキソプロフェンナトリウム	譫妄	回復	インフルエンザ治療の為、リン酸オセルタミビル投与開始。夜、2回目投与後、「怖い、怖い」とうわ言を言った。異常行動・うわ言発現。4日後、異常行動・うわ言回復。
68	B-07000242	女性	10歳代	不明		脳梗塞	不明	詳細不明
69	B-07000243	男性	10歳未満	不明	テオフィリン برانلカスト水和物 ツロブテロール	意識消失	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル服用1時間後、突然笑い出す。しばらくして消失。再度、本剤及び他薬剤を服用後、両眼球が左上向きになり、口をバクバクして、呼びかけにも応じず、唇の色が悪くなったので、指を口の中へ入れて吐かせる等の対応をした。
70	B-07000245	男性	40歳代	150mg		自殺既遂	死亡	一年以上前、インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。次の日、自殺。
71	B-07000256	女性	10歳代	150mg		意識レベルの低下	回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。投与4日目、意識レベルの低下発現。
72	B-07000257	男性	10歳代	150mg		幻聴 幻覚 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。翌日、本剤3回目を服用後様子がおかしくなり暴れだす。幻聴、幻覚、異常行動発現。他院入院。翌々日、回復。

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
73	B-07000263	男性	50歳代	150mg	酒石酸ソルピデム アセトアミノフェン	幻覚 異常行動	回復 回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、幻覚、異常行動発現。本剤投与中止。自宅にて発現したため、一過性の脳虚血発作を疑い、検査のため入院。結果は脳虚血発作の可能性は薄いとのこと。
74	B-07000267	男性	10歳代	138mg		譫妄	回復	体温37.8℃で来院。インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用開始2日目、夜から未明にかけて、うわごとが続く。服用開始3日目に中止。服用中止翌日、うわごと軽快。
75	B-07000270	女性	10歳未満	18mg		痙攣 発育遅延	回復 不明	インフルエンザワクチン接種後、感冒様症状出現。ワクチン接種翌日、感冒様症状は軽快。ワクチン接種4日後、再び感冒様症状あり、迅速検査でインフルエンザ陰性。対症療法薬剤を1~2回服用。再度、感冒様症状発現から2日後、38.6℃発熱。リン酸オセルタミビルを服用。本剤服用約20分後、脱力、意識消失、チアノーゼ、痙攣を生じた。本剤服用45分後頃、病院にて間代性けいれん、意識障害に対しジアゼパムを投与。10分後、痙攣が止まる。約90分後、意識清明、神経学的異常なし。その後は服用なし。5日後、下肢機能不良。発達障害あり。
76	B-07000276	女性	50歳代	150mg		痙攣 外傷性仮死 脳症	不明 回復 (後) 未回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。一回服用後、痙攣、意識レベルの低下発現。本剤投与中止。翌朝、普段と変わらない状態を確認後、食事。その後、食事をのどに詰め倒れているところを発見。
77	B-07000277	不明	小児	不明		譫妄	回復	インフルエンザA型と診断されリン酸オセルタミビル処方。服用5日目に譫妄の症状が発現し入院。入院時インフルエンザウイルスは陰性。服用6日目、譫妄は回復。
78	B-07000278	男性	10歳未満	88mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。翌日、異常行動発現。その後回復。
79	B-07000282	男性	10歳未満	不明	塩酸レセルピリン酸ジメチル アミノエチル ヒベンズ酸チペピジン 塩化リゾチーム アセトアミノフェン 塩酸プロムヘキシン	異常行動	軽快	リン酸オセルタミビル投与後30分後、口を噛むようなしぐさを繰り返す。服用3時間後、多弁、幻覚、物を取るようなしぐさを発現。同日夕方、入院。脱水傾向もあり。体温38.8℃。翌日、軽快。
80	B-07000285	女性	10歳未満	不明		痙攣	回復	インフルエンザの疑いの為、リン酸オセルタミビル投与開始。熱性痙攣発現。インフルエンザは陰性。熱性痙攣回復。
81	B-07000287	女性	50歳代	75mg		落ち着きのなさ	回復	インフルエンザA陽性であり、症状の訴え強いため、リン酸オセルタミビル75mg服用後、透析開始。服用20分後、息苦しさ出現。SpO2 90%。O22リットル開始後、98%に改善するが、その後起座呼吸。不穏状態となる。胸部レントゲン上(透析1時間後)うっ血を認める。服用1時間後、心不全、不穏の為、入院。



No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
82	B-07000289	女性	10歳代	150mg		意識消失 痙攣 意識消失	回復 回復 回復	診察時38.4℃。インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル5日分処方。服用終了後、解熱。服用終了2日目、意識喪失し、痙攣発現。その日のうちに受診。意識喪失、痙攣回復。服用終了3日目、再度、食事中意識喪失で2、3分倒れる。意識喪失回復。神経内科に検査のため入院(1週間)。検査では異常は認められなかった。
83	B-07000290	男性	高齢者	150mg		妄想	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。翌日、精神異常(妄想)発現。常に後ろから誰かに邪魔されている、邪魔されている人から逃げる。逃げ切った後に急にその人が前に現れるといった症状が、本剤服用後に確認された。本剤服用中止。症状回復。
84	B-07000293	男性	10歳未満	不明		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル4日分処方。服用開始2日目、熱はなし。服用開始3日目、突然泣き出す等の異常行動発症。
85	B-07000899	男性	10歳代	75mg		激越	回復	発熱39.2℃。インフルエンザB型診断にて、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤75mg服用した夜に興奮(興奮してあばれだした)発現。患者の家族からTELがあり、その後は本剤は服用していない。
86	B-07001281		10歳未満	112.5mg		睡眠驚愕 悪夢	軽快 軽快	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用による幻覚がトラウマになり、悪夢、夜驚症が発現。インフルエンザ発症から約2カ月後、副作用の訴えからジアゼパム処方。悪夢、夜驚症軽快。

## 死亡症例一覧 (平成19年3月21日～4月17日に第一報報告のあったもの) (その2)

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-06025952	女性	10歳未満	18mg	エチルコハク酸エリスロマイシン d-マレイン酸クロルフェニラミン 塩酸アンブロキシソール ヒベンズ酸チペピジン ツロブテロール	心肺停止	死亡	18:00インフルエンザ陽性。リン酸オセルタミビル18mg1回内服。翌3:00、「呼吸苦しそう」との連絡あった後、呼吸停止となり来院。挿管し、人工呼吸するも回復せず。救急車にて他院に搬送するも死亡が確認された。 (3月20日までの医療機関報告(精神神経症状)のNo.117に同じ)
2	B-07000062	男性	30歳代	150mg	麻黄湯	突然死	死亡	38℃の発熱あり。インフルエンザAの診断のため、リン酸オセルタミビルを処方。その場で服用。9時間後、2回目服用。普通に会話し、普通に歩いて寝た。深夜、家族が様子を見に行ったところ呼吸をしていないのに気づき、救急車を呼んだ。救急隊が到着した時には心肺停止状態。心肺蘇生を行うも改善せず、死亡が確認された。 死体解剖の結果、脳、胸部、腹部臓器に心肺停止をきたすような明らかな所見なし。
3	B-07000098	男性	10歳未満	70mg		脳炎	死亡	A型インフルエンザ罹患者との接触があり、また化学療養中で免疫機能低下状態のため、感染予防目的でリン酸オセルタミビル投与開始。 敗血症発症。服用から3日目、髄膜炎を発症(細菌陽性)。 (合併:急性骨髄性白血病)
4	B-07000103	女性	20歳代	150mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン 塩酸アンブロキシソール ロキソプロフェンナトリウム テオフィリン ツロブテロール フマル酸クレマスチン マレイン酸イルソグラジン ファモチジン ピオチアスターゼ2000配合剤(19) 塩酸シプロフロキサシン 塩酸テトラサイクリン スルピリン ケトプロフェン	心肺停止	死亡	咳、咽頭痛、鼻汁、38.2℃の発熱あり。インフルエンザB型と診断し、リン酸オセルタミビル処方。同日夜から嘔気が発現。服用2日目、立ちくらみのような症状あり、食べられず、薬も飲めず。服用3日目、血圧:110/68、体温:38.0℃。点滴治療を行い症状軽快。食事摂れた。数時間後、嘔気軽快。 服用4日目も同様に、嘔吐発現し、点滴にて軽快。服用5日目、朝、救急車に搬送中に心肺停止。蘇生行ってもなくなったとのこと。
5	B-07000104	男性	60歳代	75mg		痙攣	死亡	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg服用。5時間後の翌未明、けいれん(全身性)発症。

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
6	B-07000195	女性	20歳代	150mg		急性心不全 急性呼吸不全	死亡 死亡	発熱・咽頭痛・頭痛を認める。その3日目の朝、39°Cの発熱。同日夜、インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与される。次の日、本剤内服するが、その後腹痛出現し、飲めなかった(1カプセル又は2カプセル服用後、中止)。投与開始3日目、体温35.9°C、腹部所見は心窩部に圧痛認めるものの腹壁soft。グル音正常。食欲なし。投与開始4日目、救急搬送される。腹部所見は前日と同様。月経痛で腰痛もありとの訴えあり。 投与開始5日目、午前3時頃、四肢末梢にチアノーゼがあり。気管内挿管。人工呼吸、心マッサージ等を行うが、午前6時半頃、死亡確認。
7	B-07000196	女性	80歳代	75mg	クラリスロマイシン トラネキサム酸 塩酸アンブロキシール 乳酸リンゲル液(マルトース加) 幼牛血液抽出物	心肺停止 低酸素症 胃腸出血	死亡 死亡 死亡	38.4度の発熱があり、インフルエンザA型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを処方。その後自宅に戻った。同日夕方、本剤1カプセル服用。深夜0:30、心肺停止状態となり、救急搬送される。挿管、ボスミン静注で心機能は回復したが、肺機能が回復せず、人工呼吸器使用。救命措置により持ち直し、入院。その5日後、死亡。
8	B-07000230	男性	10歳未満	不明		死亡	死亡	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル投与開始。 夕方、本剤服用。その後、就寝。30分後、トイレ。1時間半後、うつ伏せで寝ていた。ぐったりしていて反応なし。病院に救急搬送されるも死亡。
9	B-07000245	男性	40歳代	150mg		自殺既遂	死亡	一年以上前、インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。次の日、自殺。
10	B-07000268	男性	10歳未満	27.5mg	アミノフィリン	肺水腫	死亡	受診時39.6度。インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、起き再度入眠。服用2時間後、左側臥位で呼吸停止状態に気付かれ、救急搬送。服用3時間後、死亡。司法解剖で高度肺水腫(肺炎なし)、脳浮腫高度(脳ヘルニアなし)、microgliosis、星状突起断裂にて「インフルエンザ脳症と矛盾しない」とされた。
11	B-07000269	男性	30歳代	150mg	スルピリン	肺水腫	死亡	受診時37.5°C。B型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。帰宅後本剤150mg服用し、就寝。翌朝、仰臥位、心肺停止状態で発見され死亡診断。 剖検結果より、推定死亡時刻は就寝3時間後。主要所見としては、拡張し重い心(448g、炎症なし)、肺水腫(肺炎なし)、尿トリアージ検査陰性、血中トロポニン検査陰性。拡張型心筋症による急性左心機能不全と診断。
12	B-07000271	男性	50歳代	75mg	トシル酸スルタミシリン ジアゼパム 塩酸プロメタジン シメチジン ウルソデスオキシコール酸 オランザピン 非ピリン系感冒剤(4)	死亡	死亡	咳嗽、39度以上の発熱あり。インフルエンザA陽性と診断。服用時間不明。布団上で伏臥位で心肺停止状態。死亡。
13	B-07000407	女性	60歳代	75mg		突然死	死亡	インフルエンザ感染症に対し、リン酸オセルタミビル処方。死亡。突然死の疑い。

No.	識別番号	性別	年代	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
14	B-07000599	女性	60歳代	150mg		白血球数減少 肺炎	死亡 死亡	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、白血球減少が発現。肺炎増悪。同日死亡。
15	B-07001280	男性	40歳代	150mg		死亡	死亡	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル4日分処方。翌日、患者宅を家族が向かい倒れていることを確認。他院へ搬送され、死亡確認。(本剤を服用していたか確認できず)
16	B-07001284	男性	30歳代	150mg		死亡	死亡	インフルエンザ陰性であったが、リン酸オセルタミビル服用開始。服用4日目、具合が悪く、病院へかかろうとして車を運転し、その途中で交通事故となる。救急車が到着した時にけいれんを認めた。搬送時もインフルエンザ陰性であった。

医療機関報告のうち、中外製薬(株)からの報告と重複しないものの概要(精神神経症状)(その2)  
(平成19年3月21日から4月17日までに報告されたもの)

性別	年齢代	1日用量	併用薬	副作用	経過の概要
女	70歳代	150mg		幻覚	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。服用2日目に変な症状(部屋の中に多数の人。猿が出現。など)が出現したが、30分後に消えた。翌朝、本剤服用中止。頭重感あるが、その他不快感なし。
男	10歳代	150mg		異常行動	服用当日の夜、目を覚ますと暴れたり、騒いだり、外へ出て行こうとする異常行動があった。熱の下がった3日後にもリン酸オセルタミビルを服用していたが、異常行動はみられなかった。
女	60歳代	150mg		失見当識	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル75mg内服開始。夜、目が覚めたところ朝と勘違いした。自宅の室内でくつをはいたりしたが、そのまま寝た。翌朝も、日時の失見当識があったが、その後改善。本剤を内服したが著変なかった。
女	10歳未満	60mg		痙攣、幻覚	リン酸オセルタミビル服用30分後、全身痙攣が発現。意識あり。その30分後も痙攣発現。翌日も痙攣、幻覚発現。
男	10歳未満	69mg		意識レベルの低下	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル34.5mg 1回服用。翌日、朝も1回服用。その後、玄関より外に出ようとしているところを家族にとめられた。意識もうろうとしている様子だったとのこと。
男	10歳代	100mg		異常行動	インフルエンザB型の診断にてリン酸オセルタミビルを服用。服用当日、暴れた、叩いた、トイレに行くと言って玄関に行った。3日後も、暴れた、叩いた、訳のわからないことを言った。
女	10歳未満	80mg		恐怖、幻視、幻覚	インフルエンザB型の診断にてリン酸オセルタミビル40mgを服用。深夜、叫び、おびえ、起きてトイレに閉じこもる。落ち着くまで30分要した。翌日の深夜にもおびえ、幻覚があった。
女	10歳未満	20.1mg		幻覚	インフルエンザB型にて、リン酸オセルタミビル処方。服用当夜、当患者がいうのには、大きな鳥がいて美しいものだった。パタパタしてとんで行くので後を追いたかったといっている。
女	20歳代	150mg		落ち着きのなさ	インフルエンザA型にてリン酸オセルタミビル処方。服用当日、異常に寂しがり家族に抱かれて1時間静かにしていたら回復した。
男	80歳代	150mg		幻覚	インフルエンザA型にてリン酸オセルタミビル処方。2日後、朝まで計4カプセル内服。昼前より、急に変なことを言い出した。薬剤中止のみで改善した。
男	10歳未満	100mg		異常行動、譫妄	インフルエンザの診断にてリン酸オセルタミビル内服開始。朝・夕2回服用後、深夜、せいぜい呼吸し、何かにとりつかれたようなかんじで訳の分らないことを言う。1時間後におちつき、本人は覚えていない。
男	10歳未満	66mg		異常行動	インフルエンザAの診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服薬1時間後、テーブルの上に昇ったり、たわごとなどの症状を無意識に行い、しばらくして消失。また2回目服薬後も、同様動作がみとめられたとのこと。
女	50歳代	75mg		意識変容状態、嘔吐	インフルエンザを疑われ、リン酸オセルタミビル75mg 1回内服し、その後安静臥床としていた。翌朝、トイレから出ようとした際に意識障害生じ、転倒、その後も立て続けに2回意識障害(数十秒以内)(計3回)で下肢打撲、自然軽快した。その後、2回嘔吐した。

医療機関報告のうち、中外製薬(株)からの報告と重複しないものの概要(精神神経症状)(その2)  
(平成19年3月21日から4月17日までに報告されたもの)

性別	年齢代	1日用量	併用薬	副作用	経過の概要
男	10歳代	150mg	セフポドキシム プロキシセチル 塩酸オロパタジン アセトアミノフェン	言葉もれ、激越	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル75mg 1回服用、数時間後より多弁となり、ハイとなった。その後、内服した際には、何事もなかった。
男	10歳未満	63mg		泣き	A型インフルエンザと診断。リン酸オセルタミビルによる治療を開始した。その夜に急に起きだして泣き出したりしたりする異常な行動が認められた。翌日再診時には意識は清明であった。
男	10歳未満	60mg		徘徊癖	インフルエンザA型にて、リン酸オセルタミビル服用し、その日の夜中に歩き回った。その後、服用続けるも異常行動なし。
男	10歳未満	64mg		激越	インフルエンザA疑い、リン酸オセルタミビル投与。3回目服用後、興奮して1時間くらい就眠せず。翌朝、服用するが特に問題はなかった。
女	80歳代	150mg		異常行動	インフルエンザ疑いにて朝から内服開始。投与3回目の後、話がちぐはぐで意味不明のことを語る。夜が明けるまで、ぶつぶつ話している。
女	70歳代	150mg		幻覚、妄想	インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。服用2日後、幻覚、妄想がみられた。3日目の夕刻、パジャマから私服に着替えて、部屋の入り口まで這って出てきた。異常な発言有り。投与終了2日後にも、時々妄想有り。
女	80歳代	150mg		不眠症、譫妄	インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。服用3日目の夜、部屋の入り口に座り込んで、内容不詳のことを話し、その後も目がランランとして、睡眠せず。4日目、意味不明の発言あり。5日目、夜間ナースコール頻回にあり。内容不詳のことを言う。
女	10歳代	150mg		意識消失、痙攣	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。服用4日目、38~39℃続き咳がひどい。レントゲン撮影時5秒けいれん意識消失。1分後、意識レベル戻った。
男	10歳代	150mg		徘徊癖、大発作痙攣、意識消失	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。服用5~6時間後、異常行動(徘徊)。深夜、強直間代発作(10秒)、発熱あり。翌日早朝、トイレ歩行中意識消失(20~30秒)発熱なし。
男	10歳未満	110mg		錯乱状態、激越	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。眠前内服して2時間後夜驚症(錯乱して暴れる、泣く)をおこした。翌日も同様であった。午後は解熱し、36度台であった。翌々日は内服せず様子を見たところ異常なかった。
男	10歳代	150mg		譫妄	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。翌日の朝、体温38.9℃。ムックリと起き出し、訳の分からないことを喋りだした。夜、やはりムックリと起きてウロウロし始めた。翌日問いただしても覚えていなかった。その後特に異常は出ず、3日程度の高熱期を経て軽快した。
男	10歳未満	54mg		異常行動	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル服用。約2時間後に急に立ち上がりうろろしたりして目がうつろ状態となる。同様な症状が服用後に出現。

医療機関報告のうち、中外製薬(株)からの報告と重複しないものの概要(精神神経症状)(その2)  
(平成19年3月21日から4月17日までに報告されたもの)

性別	年齢代	1日用量	併用薬	副作用	経過の概要
男	70歳代	150mg		譫妄	インフルエンザ検査は陰性であったが、インフルエンザを疑い本剤を処方。その2日後、肺炎をおこし入院。本剤の服用は、その日の朝まで中止。その後、虫が見えたり、天井に吸い込まれたり、お金をとられたりのせん妄状態となる。
男	10歳未満	87mg	セラペブターゼ カルボシステイン 塩酸プロムヘキシン	興奮	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。昼寝の途中で覚醒、興奮。大声を出す。夜間興奮し、部屋中を走り廻り、大声でわめき続ける。目つきも異様。2階の部屋から階段のほうへ突進するのを家族が抱いて制止。翌朝、服用中止。興奮も治まる。
女	60歳代	150mg		動悸	インフルエンザB型陽性と診断され、リン酸オセルタミビル処方。2日後、激しい動悸が出現した為、リン酸オセルタミビル中止。3日後、動悸症状軽快。
男	10歳未満	45mg		譫妄、幻覚	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、昼寝から起きたら、床に膝立ちになり床を両手でたたきつける。(さけびながら)約20分つづく。その翌日も、昼寝から起きたら同じように泣きわめく。
男	10歳未満	117mg		幻覚	インフルエンザBと診断し、夜、リン酸オセルタミビル服用。服用2時間半後、幻覚。翌朝も幻覚あり。
女	70歳代	150mg	アセトアミノフェン	意識消失	インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビル75mg 2回服用。さらにアセトアミノフェンも服用。翌早朝、意識消失あり。
女	10歳未満	90mg	アセトアミノフェン セフテラムピボキシル	悪心、浮動性めまい	インフルエンザと診断され、朝リン酸オセルタミビル服用。体温39.8℃嘔気あり、夕方に服用 体温39.2℃。夜、めまい、悪心出現。30分～1時間くらい持続後おちつき就寝。
女	10歳未満	70mg		異常行動	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。翌日、解熱傾向となった時に寝ながら大声で叫んだ。
男	10歳代	150mg		浮動性めまい	インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。服用のたびにぐったりとなり、めまい出現。
男	50歳代	記載なし	ベシル酸アムロジピン ジゴキシン アテノロール オルメサルタン ベサフィブラート アロプリノール ウルソデオキシコール酸 ワルファリンカリウム	悪夢	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、寝ているとき「女の人が3人出てきて殺されそうになった」との事。夢が現実かわからずにいた。特に異常行動はなかった。
男	10歳代	150mg		異常行動	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル75mg1回分服用。しばらくしてアセトアミノフェン300mg服用後異常なことを言いだした。2回目のリン酸オセルタミビルを服用後は、親が腕をおさえていないと危険な状態だった。
女	10歳未満	64.8mg		異常行動	A型インフルエンザと診断。リン酸オセルタミビル32.4mg1回目服用。しかし10分後に嘔吐して母の話では7～8割以上は出てしまったとのこと。しかし服用2時間後に、ケラケラ笑い布団の上で小さな虫を追う様な行動をとり呼びかけにも反応なく5分程で正常となる。

医療機関報告のうち、中外製薬(株)からの報告と重複しないものの概要(精神神経症状)(その2)  
(平成19年3月21日から4月17日までに報告されたもの)

性別	年齢代	1日用量	併用薬	副作用	経過の概要
男	10歳未満	150mg		健忘 異常行動	インフルエンザA型の診断。夕方、リン酸オセルタミビル服用後記憶障害、異常行動、奇声を認める。一過性で翌日軽快。
女	70歳代	150mg		幻覚 譫妄	リン酸オセルタミビル投与開始、翌日には解熱。投与開始4日目と5日目の深夜、夫の病室を訪れ退院したが。その後病室を出て自宅に帰る。夫が入院していたことを忘れていた。その3日後に回復。
男	10歳未満	80.04mg		ねごと	リン酸オセルタミビルを服用した日の夜、寝言。(起きている時みたいに話す。こっちから問いかけると対話しているように話す。でも寝ている。)
男	10歳前後	88.5mg	アスコルビン酸	下痢 おくび 幻覚	インフルエンザと診断。服用当日より、軽い下痢、げっぷおよびものがゆがんで見えた。
女	10歳未満	64.35mg		痙攣	リン酸オセルタミビル処方。翌日、高熱続く(40~41度)。両手の震えを観察。(手が勝手にピクピクと動き出した)。翌々日、熱が下がるとともに症状が落ち着く。
男	80歳代	150mg	セフジニル、カルボシステイン	幻覚 浮動性めまい 幻聴	リン酸オセルタミビル処方。頭上げるとふらつき発現。2日後、左耳のみ聞こえ方がおかしい。自分の声が響く。赤ちゃんの泣き声が響くと訴えあり。ふらつき持続。3日後、猫がみえるとの幻覚あり。酸素カニューレから赤ちゃんの声聞こえるとの幻聴もあり。
男	10歳未満	90mg		浮動性めまい	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。2回目服用後、歩くとめまいがするとの訴え。40.2℃の発熱あり。翌日、熱は下がったが、めまいの訴えあり、本剤中止。翌日、再度38℃台まで発熱。家がゆがむとの訴えあり。
男	10歳前後	78mg		譫妄	インフルエンザの診断にてリン酸オセルタミビル服用開始。夜半、うなされて意識がもうろうとなる。よびかけてもはっきりせず、母親が異常行動を疑い、本剤中止。意識回復。
男	10歳前後	164mg		悪夢	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用後、悪夢にうなされる。翌日も服用後、悪夢にうなされる。服用中止後は回復。
女	10歳未満	36mg		痙攣	インフルエンザにてリン酸オセルタミビル処方。服用開始翌日、寝ている時、痙攣の様にピクピクする。その翌日熱が下がり、自己中止。その後痙攣なし。
男	10歳未満	42mg		低体温 不安感	インフルエンザAにてリン酸オセルタミビル服用。低体温。その後父親をみてすごく怖がる。不安になり自己中止。その後症状なし。
男	10歳前後	150mg		鎮静 悪心 下痢	インフルエンザA型でリン酸オセルタミビル服用し、すぐ、ふとんの上に大の字になってボンヤリしている。応答なし。吐き気もあり。翌朝、下痢。
女	10歳未満	70mg		不安	インフルエンザA型により、夕方、リン酸オセルタミビル服用。その夜、こわい夢を見た感じで、とても不安がっている様子。症状はこの日だけ。5日間飲みきった。



医療機関報告のうち、中外製薬(株)からの報告と重複しないものの概要(精神神経症状)(その2)  
(平成19年3月21日から4月17日までに報告されたもの)

性別	年齢代	1日用量	併用薬	副作用	経過の概要
男	10歳未満	82mg		痙攣 幻覚	インフルエンザA型と診断。リン酸オセルタミビル服用後、言動、行動がおかしく、幻覚症状とけいれん(震え)あり。翌朝も内服1時間後にけいれん様の震え、異常言動あり。同日夕方、本剤服用後30分で震えあり。翌日から薬の服用中止。
女	60歳代	300mg	臭化水素酸デキストロメト ルファン	意識消失	リン酸オセルタミビル処方後翌朝、食事中、腹痛、気分不快になり、5分程度意識消失。尿失禁もあり。その後回復。
女	20歳代	150mg		幻覚 幻聴 頭痛	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。2回目服用後、臥床。頭痛激しく、夢か現実か分からない状態で幻覚に基づく異常行動をしていた(内容の詳細不明)。翌朝回復。
女	100歳代	150mg		幻覚	前日より、39.5℃。午後4時にリン酸オセルタミビル服用。夕より幻覚出現。発熱は軽快。投与2日目、幻覚あり、発熱なし。リン酸オセルタミビル継続。投与3日目、幻覚あり、発熱なし。リン酸オセルタミビル中止。その翌日、幻覚減少、発熱なし。
女	10歳未満	84mg		異常行動	リン酸オセルタミビル服用後、寝ている時に起き上がり、ズボンを脱ぎ出した。その後再度来院、異常行動なし。
女	10歳未満	45mg	ソロブテロール、セフジニ ル、耐性乳酸菌製剤(3)、ヒ ベンズ酸チペピジン、カル ボシステイン、フマル酸クレ マスチン	鼻出血	投与1日目、リン酸オセルタミビル服用30~40分後、鼻出血。家族がリン酸オセルタミビルを疑い休薬。休薬後発熱おさまらず、再度3日後に服薬させた後、再び鼻出血。その間39℃の発熱あり。
女	90歳代	150mg		異常行動	投与開始3日後、はだして外へ飛び出そうとしたので、家族がドアを開めたが、その後も興奮状態で、家の中を動き回ったり訳のわからないことを叫んだりしていた。一晩で症状はおさまった。
女	10歳代	150mg	ドンペリドン、マレイン酸クロ ロフェニラミン、絡酸菌製剤	大発作痙攣、意識変容 状態	来院時(午前中)38.5℃。インフルエンザと診断し、帰宅後タミフル1カプセル内服。この時、40℃。昼異常なし。21時半から22時に2階から1階に降りようとして「こわいこわい。」とさけびだし、両手を広げバンバン壁をたたき、その後けいれんを1分間起こした。5分後、会話ができるようになったが、「こわいこわい。」と いていた。
女	50歳代	150mg		異常行動	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。3日目、入眠中に本人の日常の仕事である介護の仕事をしている夢をみて、動いていた。その後、入眠、さらに一時間後同じ行動をとった。
男	10歳代	150mg		錯乱状態	インフルエンザB型で、リン酸オセルタミビル投与開始6日目頃より、行動に統合性がなくなった。意識は清明、見当識あり。だが、会話に混乱。神経学的には明らかな脱落症状なし。統合失調症をうたがいが精神科紹介となる。
女	80歳代	75mg		異常行動	初回投与日の夜中0時頃、他の患者のベッドで寝ている。自分のベッドに戻った後、一人で廊下に出てきて階段の所に立っている。言動もおかしく見当識障害もみられる。
女	10歳未満	51mg		異常行動	インフルエンザB型で、リン酸オセルタミビル投与開始。初回内服5時間後、夜寝ている時に、ふるえ、目上転、笑う等の発現あり、母親が呼びかけても意識はなく数分後におさまり、以後普通の状態となる。これまで熱性せん妄、熱性痙攣等の発現はなし。

医療機関報告のうち、中外製薬(株)からの報告と重複しないものの概要(精神神経症状)(その2)  
(平成19年3月21日から4月17日までに報告されたもの)

性別	年齢代	1日用量	併用薬	副作用	経過の概要
女	50歳代	150mg	ロキソプロフェンナトリウム、レバミピド、ジクロフェナクナトリウムサボ、サリチルアミド、アセトアミノフェン、無水カフェイン、メチレンジサリチル酸プロメタジン	意識レベルの低下 感情不安定	インフルエンザA型にてリン酸オセルタミビル服用開始。症状軽快してきたが、服用7日目の朝、頭痛し気が遠くなりそうな感じが出現。嘔吐と精神的な不安定(いても立ってもいられない感じあり)。補液、安静で軽快した。
男	10歳未満	76mg		異常行動	インフルエンザA型にてリン酸オセルタミビル2回服用後、1時間半後に眠っていて急に起きて、「何でこんなにたかいたところにいるの?」といった。目をくるくるさせていた。すぐにまた寝た。(38.5℃以上あった)その後、翌日には、解熱。
女	10歳未満	80mg		異常行動	インフルエンザB型にてリン酸オセルタミビル1回目服用後、1時間後、意識がおかしかった。ベランダに出て行こうとした。(5分間)(鍵がかかっている出て行けなかった。)
男	10歳未満	84mg		異常行動	リン酸オセルタミビル内服3時間半後、睡眠中であつたが、起きて「ここから出たい、何でアカの」と発言。ベットの上を歩こうとする。母親が制止しようとするが、振り払う仕草が見られる。尿器で排尿し、その後落ち着く。再び睡眠。一時間後、体温39.5℃。母親より本人は覚えていないとの訴えあり。
女	80歳代	150mg		譫妄	前日夜よりリン酸オセルタミビル服用。翌日夕方、天井に蛇がいる。水が流れている等の異常言動あり。翌々日の朝、昼にもあり。リン酸オセルタミビルは翌々日朝で中止。夕方より異常言動消失。
女	60歳代	150mg	アセトアミノフェン	うつ病	インフルエンザB型でリン酸オセルタミビル処方。本剤内服後、うつ状態となり、死にたいという気持ちが強くなり、手首を切ろうかと思いつめた。2日間内服したが、あまりに症状がきついたので内服をやめる。服用中止後、症状は軽快してきたが、いまだにうつ状態が抜けきらない。
女	20歳代	150mg		意識混濁	インフルエンザA型でリン酸オセルタミビル服用。数時間後うわごと、フラフラと無意識に歩行(この段階では高熱状態継続)。
男	70歳代	150mg		意識消失 嘔吐	服用2日目朝、意識消失し、倒れているのを発見された。
男	30歳代	75mg		衝動行為 肝障害	夕方一回服用。夜間、外に走り出したいという強い衝動が起きたが、そんなことをしたら子供が恥ずかしがるからと思い、家の中の階段を10回ほど昇ったり降りたりして衝動を抑えた。3日後、当院受診し、肝障害、筋酵素上昇にて5日後より入院となった。入院中も高熱が続いたが、精神症状の出現はなかった。
男	10歳代	52.5mg		異常行動	インフルエンザ陽性と診断され、リン酸オセルタミビルを夕方一回服用させて寝かせつけたところ、1時間後に突然起きて、外に出ようとした。その後も家の中をふらふらとしていた。服用中止し、翌朝まで寝かせつけた。翌日本人は憶えていない。
男	10歳未満	75mg		落ち着きのなさ	インフルエンザA型陽性と診断され、リン酸オセルタミビル服用。1回目服用後、母が枕元で掃除機を使用したところ、その音に驚き「何かが襲ってくる助けて」と不穏状態。約1時間で消失。2回目以後は特に問題なし。

## タミフル非使用例の「異常な行動」等について(平成19年4月3日～4月17日までに入手できたもの)(その2)

No.	報告日	性別	年齢代	1日用量	併用薬	副作用	経過の概要	備考
1	20070403	男性	10歳代			異常行動	本年3月9日。インフルエンザB型。深夜、トイレに起きて別方向の窓(3階)を開けて出ようとしたため、家人が押さえた。その後別の窓を開け、再び出ようとしたため、家人が取り押さえ事なきを得た。本人はその時の記憶あり。	医療機関からの報告
2	20070403	女性	70歳代			譫妄、激越	本年3月28日。インフルエンザA型と判明。探し物をしてあちこちの棚を開け、制止し臥床させても起き出して行動を始める。足下はフラフラしており、探し物をする手も少し震えていた。話しかけても理解できない様子。	医療機関からの報告
3	20070403	男性	10歳代		ザナミビル水和物	幻覚、異常行動	本年3月22日。インフルエンザB型。1回目の吸入の数時間後、「誰がいる」など幻覚症状出現(体温38.9度)。2回目の吸入後、深夜、幻覚症状増悪。「外を見てくる」と言ってベランダに走って行った。家族が取り押さえた(体温40度近く)。	医療機関からの報告
4	20070403	男性	10歳未満			異常行動	本年3月末。インフルエンザA型と判明。体が浮くような感じがしてベランダに登りかけたところを家族が制止。	医療機関からの報告
5	20070403	女性	10歳代			異常行動	本年3月25日。インフルエンザA型と診断。夜、2階から降りてきて、道路に出て行くことするので、家族が必死で制止し、なんとか押さえつけることができた。	医療機関からの報告
6	20070405	女性	10歳代		なし	譫妄 幻視	本年3月23日。インフルエンザA型と診断されたが、リン酸オセルタミビル等抗ウイルス薬は処方せず。夜、39～40℃となった。トイレで何かを追い払うような仕草でバタバタしている事に家人が気付いた。部屋につれてきててもカレンダーを指示し虫がいるかのように振舞った。表情は眼を見開き、口がゆがんでいた。	医療機関からの報告
7	20070406	女性	10歳代			激越 譫妄	ザナミビル水和物処方後、押さえ込まないと暴れたり、大声を出したりする。「死にたい」「窓から落として」などと口走ったり、2階の窓から身を乗り出そうとするので、30分間抑えていた。その後、ザナミビル水和物吸入しても症状の発現はなかった。	医療機関からの報告
8	20070406	男性	10歳代			異常行動	本年3月25日。インフルエンザA型と判明。翌日夜39.9℃の発熱。急に起き上がり部屋から出て、他の部屋へ出入りする。焦点は定まらず。意思の疎通できず夜中に3度座り込み、笑い出す。朝、本人は昨晚のことがほとんど記憶にない。	医療機関からの報告
9	20070409	男性	10歳代			異常行動	本年3月5日。夜に妙なことを言う。翌朝5:30から発熱(39.2度)により、受診。臨床的にインフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル投与したが服用せず。昼頃、おびえだし、観察していたところトイレへ走り便器に顔を突っ込むようなしぐさで「死にたい」などと言っていたので親が制止した。	医療機関からの報告

No.	報告日	性別	年齢代	日用量	併用薬	副作用	経過の概要	備考
10	20070410	男性	10歳代			異常行動 譫妄	以前より誰かに追いかけるような感覚を伴う怖い夢を見ることあり。 本年3月5日。発熱および感冒症状を認めたが、リン酸オセルタミビルを含む薬物の処方を受けていなかった。翌朝4時過ぎより譫妄による怯え。また、その日の夜は平素と変わらぬ様子で入眠するが、夜中、自宅(3階)より転落し、現場で膝を抱えて座って叫んでいる状態を家人が発見。本人に転落前後の記憶はなかった。	医療機関からの報告
11	20070412	男性	10歳代			異常行動 悪夢 睡眠時遊行症	本年3月15日、朝から38°C台の発熱で自宅にて安静していたが、36°C台になり登校。夜0時前に就寝後、夢の中で何かに追いかけられ、それから逃げようと思ひ飛び降りたら、それが現実だった。本人が気付いたときは自宅の庭であった。翌朝4時に近所の人に発見され、救急車で搬送された。搬送時と病院到着時意識清明。体温39.4°C。インフルエンザB(+)。右第2~4中足骨骨折あり。睡眠脳波、頭部MRI正常。	医療機関からの報告